



株式会社コトブキエンジニアリング様

〒 101-0031

東京都千代田区東神田 1-10-4

お話を伺った方：齋藤 寿仁 様

米内山 雅孝 様

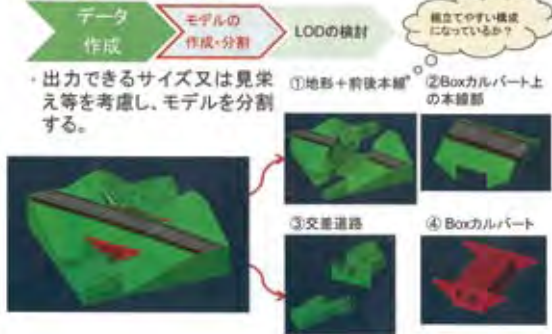
ご使用機種：MF-2200D

Q. MUTOH を知っていただいたきっかけを教えてください。

以前は私たちも MUTOH のドローパー、ペンプロッタなどを使っていました。そのため武藤工業という名前は 40 年ほど前から知っていました。



※ データ作成



※この立体模型は、土木学会 土木情報学委員会 道路業務プロセスモデル検討小委員会 第4回 データモデルセミナーで使用されたものです。

Q. 3D プリンタを導入しようと思った理由を教えてください。

3D プリンタの市場やブームの背景などの調査を行う機会があり、様々な 3D プリンタに触れることができました。この経験がきっかけで、自社でも 3D プリンタを活用しようと考えました。模型をつくるのが主な目的でしたが、勉強も兼ねて導入に至りました。

Q. MF-2200D を選定された理由を教えてください。

MUTOH の MF-2200D と同じ大きさの造形ができる他社プリンタと比べて導入コストが抑えられることや、国内メーカーであるということが理由です。委員会の研究の過程で他社の 3D プリンタも見ていたので、低コストと造形の大きさを両方求めた結果 MUTOH の MF-2200D を選定させていただきました。

Q. 使用されて良いと感じた点がありますか？

造形の様子を見ていて楽しいというのがありますが、お客様に模型を見せた時に喜ばれることが一番うれしいです。図面で平たいものを見るよりも MF-2200D で造形したものをお客様に見ていただくほうが、情報がシンプルに伝わるのでこちらも説明を簡潔に済ませることができます。弊社は道路や都市開発の計画などを行っているので、例えば工事に着手した前と後のプレゼンテーションではイメージを立体の模型で提示することでよりお客様に理解していただけるようになりました。

Q. 弊社へのご要望などございますか？

スライサーソフト上でも簡単な編集ができるなどソフトウェアの進化を期待しています。また、3D プリンタを導入している他社がどのように活用されているかなどの情報を知りたいです。